

# 読んでみよう 解いてみよう さん太のワークシート

倉敷芸術科学大の学生が、若者にまちづくりの魅力を伝えるアニメーションを作りました。記事を読み、質問に答えましょう。

アイデアを出し合って  
地域を元気にしたいね



15日付、山陽新聞朝刊日曜ワイド

倉敷芸術科学大の学生が制作したアニメの一場面



試写会で創作への思いを語る学生ら



## 倉敷芸科大生

若者にまちづくりの魅力を伝えようと、倉敷芸術科学大（倉敷市連島町西之浦）の学生がアニメーションを完成した。同世代の視点を生かした作品を、と地元経済団体が依頼。シーンに合わせた色彩や人物の動きにこだわりながら、一度は都会に出た女性が古里でまちおこしに目覚めるまでの物語を描いた。動画投稿サイト・YouTubeで公開している。（西平亮）

# まちづくりの魅力アニメに

## サイトで公開 地元思う心表現

「つながるまちづくり」というタイトルの約5分の短編。主人公は、幼い頃に父親が開いた夏祭りで遊んだ思い出を持つ地方出身の若い女性。都市部で就職したものの仕事に行き詰まり帰郷し、落ち込んでいたところ父親に誘われ、今度は主催者側として花火大会の準備を手伝う。それを機に地域を元気づける活動の面白さに気づき、生きがいを取り戻すというストーリー。

アニメーションが専門の中川浩一教授(56)のゼミに参加するメディア映像学科の1〜3年生14人が、日本青年会議所中国地区岡山ブロック協議会（同市玉島中央町）の依頼を受け、夏休みを利用して制作した。

アニメ制作の監督を務めた2年の清水友梨香さん(20)は「取り組みを通じて自分も地域おこしに参加してみたくなった。地元を思う主人公の気持ちに共感してもらえたらうれしい」と話した。

10月下旬には同大で試写会が開かれ、関係者約10人の前で学生らが創作のポイントなどを話した。同協議会の滝澤十会長(40)が「少子高齢化の上に新型コロナウイルス禍で苦しむ地域の盛り上がりにつながる」などとお礼を述べた。

見る人が自由にイメージできるようせりふは使わず、表情や色調の明暗、目の輝き、細かい身ぶりなどで変遷してゆく心模様を表現した。クラシック音楽調のBGMは同大の卒業生が手掛けた。中川教授は「テーマを伝えるだけでなく、何度も手直しして作り上げた細部の演出も見どころ」と推す。

Q1 ★★★★★

倉敷芸術科学大の学生は、誰に、どのような依頼を受けてまちづくりについで動画を作りましたか。リード（第1段落）から読み取りましょう。

Q2 ★★★★★

学生が作った動画のストーリーを、第2段落に注目して50字程度で説明しましょう。

Q3 ★★★★★

まちづくりのために自分たちは何ができるか、学生による動画「つながるまちづくり」をインターネット検索するなどして周りの人と話しましょう。

★の数は問題の難易度を表しています。